

「千葉県デジタル・トランスフォーメーション推進戦略 (1.1版)(原案)」に関する意見と県の考え方について

千葉県総務部デジタル改革推進局
デ ジ タ ル 戦 略 課

1 パブリックコメント実施期間

令和7年11月20日(木)から令和7年12月22日(月)まで

2 意見提出者数・意見の延べ件数 10名(個人9、法人・団体1)・13件

3 提出された意見の概要と県の考え方

※提出された意見について、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

※一部複数の意見が述べられているものについて、意見の概要を分割して掲載しています。

御意見の概要	県の考え方
(1) 第3章 目指す姿	
以下2点を提案する。 1. 「紙の教科書」を学習の基盤(メイン)として維持・存続させる方針の明記。 2. デジタル教科書・教材の「有効な活用方法」と「弊害」を検証するため、保護者・教職員・有識者・児童生徒による「ステークホルダー会議」を千葉県独自に設置すること。	いただいた御意見について、今後の施策の参考とさせていただきます。
(2) その他	
スピリチュアル産業(占い、気功、呪術、魔術等が関係する産業)に関して、占い師はデジタル化し、AI受付システムに変更すればよく、地方税としてスピリチュアル税をかけることで、安全で効率化された娯楽を提供できるのではないかと。	いただいた御意見について、今後の施策の参考とさせていただきます。
市町村の現状として、職員認証や情報共有の仕組み、業務基盤の整理が十分に進んでいないケースが見受けられ、ガバメントクラウドへの移行を検討する段階において、本来は前提条件として整理されるべき事項が、実質的な検討のハードルとなっている状況もあるように思われる。 県において、共通の棚卸しの考え方や判断の視点、モデルとなる進め方を整理・提示していただくことが、市町村の初動における負担軽減につながるのと同時に、県内全体としての取組水準を一定程度そろえていく上でも有効ではないかと。	市町村のDX推進には、御指摘の点も含め、様々な課題があると認識しています。 県においては、市町村への支援として、国の方針や先進事例の共有や外部専門人材を活用した技術的知見からの助言を行うなど、市町村ごとの課題やデジタル化の進捗に応じた支援を通じ、DXの推進に努めています。 引き続き、いただいた御意見を参考に、各市町村の実情を把握しながら、支援してまいります。

<p>人材育成については、戦略 (P20～22) において重要な取組として位置付けられている一方、市町村の現場では担当者の異動が多く、研修内容やノウハウの継続・定着が難しい状況も見受けられます。そのため、職員の役割や経験に応じたレベル別の考え方や、共通的な育成の枠組みが示されることで、特定の個人に依存することなく、組織として DX を継続していくための基盤づくりにつながるものと考えます。</p>	
<p>市町村が外部事業者や他自治体と連携しながら DX を進めていくためには、課題や取組状況を共有できる場や、共創を前提とした仕組みが重要だと感じます。今後、ガバメントクラウドの活用や業務のデジタル化が進むにつれて、市町村ごとに異なるシステム構成や運用の前提が、取組の進め方やスピードに影響する場面も想定され、こうした前提差が実装段階での負担とならないよう、県としてどの範囲まで共通の考え方や支援の枠組みを示していくのかについても、検討の中で整理されていくことを期待します。</p>	<p>いただいた御意見を参考に、今後とも市町村との連携及び市町村 DX の支援を進めてまいります。</p>
<p>戦略で示されている「様々な主体が共に DX を推進する」という考え方 (P5) を踏まえ、県として連携の枠組みをより具体化していただくことで、市町村の取組が一層実践的に進んでいくのではないかと考えます。</p>	
<p>以下の理由から、すべてをデジタル化する方向性には賛成できません。</p> <p>①教育現場における教科書や学習ノートについては、紙の教材が最も適していると考えます。</p> <p>②マイナンバーをはじめとする個人情報の管理について、海外へのデータ流出などのリスクが報道されており、県民として強い不安を感じています。まずは安全性と信頼性を十分に確保することが不可欠。</p> <p>③災害時のリスクについても懸念があります。アナログの仕組みを残しておくことは、災害に強い社会づくりの観点からも重要。</p> <p>デジタル化は必要な部分に限定し、紙媒体の良さを残しながら、県民の安心と子どもの健康・学力を守る、バランスの取れた施策を検討していただきたい</p>	<p>御懸念の点につきまして、県においても様々な可能性を想定したうえで、適切に対応してまいります。</p>

<p>以下3点について反対。</p> <p>①過度なデジタル化に反対。デジタルは便利である一方情報漏洩のリスク、災害時に使えないリスク、安全性に疑問がある技術もある。またすべての人がデジタル技術を使いこなせるわけではなく、公共の福祉が平等に行き渡らないことを危惧する。</p> <p>②スマート農業に反対。日本の農業事情に合わず大多数を占める小規模農家つぶしになる、外資系の参入を許すことにもなりかねず国家防衛上のリスクがある。フードテックは人体への影響が未知数、従来の農法なら起きない工業製廃棄物の発生がありエコから逆に遠ざかる。</p> <p>③デジタル教科書に反対。タブレットは簡単にリサイクルできずエコではない。子供たちの目への影響。デジタル機器の操作に気を取られ学びに集中できない懸念。</p>	<p>御懸念の点につきまして、県においても様々な可能性を想定したうえで、適切に対応してまいります。</p>
<p>デジタル化に反対である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルが進んでも全く教育体制が整っておらず、一般人は追い付いていない。 ・人間らしい生活を望む。これ以上のデジタル化は必要ない。 	
<p>千葉県デジタル・トランスフォーメーション推進戦略に反対である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業に反対（ゲノム編集・遺伝子組換作物反対、大規模農業・株式会社化・外資化反対） ・情報漏洩、一斉シャットダウン等のトラブルへの懸念がある。 ・何でもデジタル化することには反対。 ・行政の方針が間違っている、行政のやり方に賛同する企業に有利になるなどの心配がある。 ・小規模農家、個人事業主、中小企業を応援してほしい（デジタル化しなくても）。 	<p>いただいた御意見について、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>何でもかんでもデジタル化するのは反対。</p>	

<p>デジタル化するには税金がものすごくかかるのではないか。その費用はどこから捻出するのか。</p>	<p>限られた経営資源（人的資源・税財源）を有効活用し、国の制度等を利用しながら、デジタル技術の活用による業務効率化等を通じて、効果的・効率的な行財政を推進してまいります。</p>
<p>システムに障害が起こった時、デジタル化すると機能しなくなるのではないか。その時の対策は考えているのか。</p>	<p>システム障害時にも早期復旧により業務が継続できるよう危機対応マニュアルの整備などに取り組んでいるところです。</p>